

ヒトゲノム編集技術のガバナンスと基礎研究・臨床応用に関する委員会  
(第25期第1回)  
議事要旨

1. 日時：令和3年11月6日（土）10:00～12:00

2. 形式：オンライン会議

3. 出席：

委員：

阿久津委員、加藤委員、高橋委員、高山委員、武田委員、土井委員、島菌委員、  
水野委員、

事務局：増子、丸山、福井（学術調査員）

欠席：岸田委員、古庄委員

4. 議事：

(1) 役員を選出

- ・各委員自己紹介
- ・本委員会設置の背景説明（世話人：武田委員）
- ・武田委員が加藤委員を委員長に推薦し、全会一致で承認された。
- ・司会を武田委員から加藤新委員長に交代した。
- ・加藤委員長が、副委員長に高山委員、幹事に武田委員、阿久津委員を指名し、承認された。

(2) 委員会の進め方

以下について了承された。

- ・原則公開、必要と認められれば、議決を経て非公開も可能。
  - ・議事要旨は公開、資料は原則非公開（公開を妨げはしない）
- 加藤委員長より、提言発出までに想定するスケジュール案について説明があった。

(3) 現状の把握（基礎科学技術、法律、国際的ガバナンス）

- ・阿久津委員から「日本におけるゲノム編集技術の研究－ヒト胚研究制度の概要－」について説明があった。
- ・高山副委員長から「2020年学術会議「提言」と現行法規制」について説明があった。
- ・加藤委員長から「WHO（世界保健機関）の活動について」説明があった。

(4) 討論

- ・各委員よりコメントがあり、様々な専門分野の視点で総合討論が行われた。
- ・次回は、24期いのちと心を考える分科会、行政側から法整備などについて意見を聞ける方をお呼びして、引き続き委員会で現状の把握したい旨、委員長より提案があり、準備を進めることとなった。

#### (5) その他

- ・来年3月ロンドンで行われる予定の第3回ゲノム編集サミット The Third International Summit on Human Genome Editing について、いのちと心を考える分科会からの推薦予定者について報告があった。会議の詳細が明らかになり次第本委員会も対応を決めることになった。

以上